ICHINOSEKI
FIRE DEPARTMENT

広報119

2026年【令和8年】 秋号
Vol.40



掲載記事

- 第49回全国消防職員意見発表会
- 冬のさまざまな事故防止
- 感震ブレーカーの設置･秋季火災予防運動
- 消防･防災セミナー指導者養成講座の開催
- 令和8年度岩手県幼少年女性防火委員会会長表彰

第 49 回 全国消防職員意見発表会 出場!

全国消防職員意見発表会は、全国 9 支部から選抜された消防職員が、職務を通じて得た経験や業務に関する提言、消防が取り組むべき課題などについて自由に発表し、消防業務に関する知識の研鑽と意識の高揚を図ることを目的として、毎年開催されています。



第 49 回全国消防職員意見発表会は、令和 8 年 5 月 28 日(木曜日)、愛知県名古屋市にある劇場の御園座(みそのざ)を会場に開催されました。

一関市消防本部から、東北支部代表として千葉友理恵消防士長が出場し、見事入賞を果たしました。千葉消防士長は、「ワンストップ救急子育てサポート」と題して発表。近年、子育てや救急に関する情報が多様化・複雑化する中、必要な情報へ迅速かつ確実にアクセスできる仕組みの構築を提案しました。

また、子育て世代が安心して暮らせる地域づくりや、適切な支援へ円滑につながるサポート体制の重要性について、現場での経験を交えながら発表し、高い評価を受けました。

本発表は、子育て世代が抱える不安の軽減と救急需要の適正化の両立を目指すものであり、今後の地域消防行政における新たな取り組みの可能性を示す内容となりました。

なお、発表の様子は **You Tube** で配信されています。ぜひご覧ください。

楽しい季節…
だからこそ！

冬のさまざまな事故防止

～みんなの注意で救える命があります～

冬は、気温の低下や雪・寒さによって、思わぬ事故や体調の悪化が起こりやすくなります。家族やご自身のために、今からできる対策を心がけましょう！

転倒に注意！



雪や路面の凍結で、転倒によるケガが多く発生します。

対策のポイント

- 滑りにくい靴を履く。
- 時間に余裕をもって行動する。
- 転倒しやすい場所は、こまめに除雪・融雪を。

ヒートショックに注意！



寒暖差で血圧が大きく変動し、心筋梗塞や脳卒中を引き起こすことがあります。

対策のポイント

- 入浴前に脱衣所を温める。
- お湯の温度は低めに設定。
- 急激な温度変化を避ける。

やけどに注意！

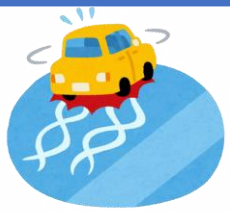


暖房器具などでの火傷や、湯たんぽ・カイロなどで低温火傷が起こることがあります。

対策のポイント

- 暖房器具の取り扱いに注意する。
- 湯たんぽやカイロは直接肌にあてずに使用する。

車の事故に注意！



路面の凍結や視界不良で、交通事故のリスクが高まります。

対策のポイント

- 冬用タイヤの装着・点検。
- スピードを控えた運転をする。
- 車間距離を十分にとる。

感染症の予防を！

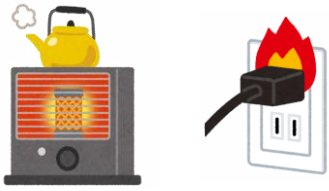


インフルエンザやノロウイルスなど、感染症が流行しやすくなります。

対策のポイント

- こまめな手洗い・うがい。
- マスクの着用。
- 十分な睡眠とバランスの良い食事を心がける。

火の取扱に注意！



暖房器具の使用や空気の乾燥により、火災のリスクが高まります。

対策のポイント

- コンセントのほこりを掃除する。
- 外出時や就寝時は必ず火を消す。
- 暖房器具の周りに可燃物を置かない。



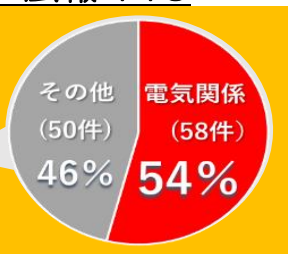
冬の事故は ちょっとした注意で防げます。

もしもの時は 迷わず１１９番

～地震による電気火災対策を！～

感震ブレーカーを設置して、電気火災から「家」・「地域」を守りましょう！！

※東日本大震災における本震による火災全 111 件のうち、原因が特定されたものが 108 件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。



【火災事例①】

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱 ➡ 停電した状態から通電し、ストーブが作動 ➡ 紙類に着火し火災発生。



【火災事例②】

家具が転倒し、「電気コード」が下敷きや引張で損傷。 ➡ 通電の瞬間、コードがショート ➡ 散乱した室内で、近くの燃えやすいものに着火



分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5，000円～2万円	3，000円～4，000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

秋季全国火災予防運動が実施されます

「火の確認　いい日を支える　いい習慣」を全国統一標語に、

令和8年秋季火災予防運動を全国一斉に行います。

これから暖房器具を使用する季節となるため、使用前には必ず点検を行いましょう。

また、住宅用火災警報器を点検し、作動状況を確認しましょう。住宅用火災警報器の取り付け支援も行いますので、各署・分署までご相談ください。



★4つの習慣★

①寝たばこは絶対にしない、させない。
②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
③こんろを使うときは火のそばを離れない。
④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

★6つの対策★

①ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
②住宅用火災警報器を定期に点検し 10 年を目安に交換する。
③寝具、衣類及びカーテンは防炎品を使用する。
④消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
⑤避難経路と避難方法を常に確認し、備えておく。
⑥地域ぐるみの防火対策を行う

＊期間：11月9日（月）～11月15日（日）＊



地域の防災リーダーを育成

消防・防災セミナー
指導者 養成 講座

一関市消防本部では、地域における防災活動の推進役となる指導者を養成するため、消防・防災セミナー指導者養成講座を開催しました。一関会場では9月 26 日（土曜日）と 10 月 10 日（土曜日）、千厩会場では 10 月 11 日（日曜日）と 10 月 25 日（日曜日）に実施し、消防団員や女性消防協力隊、自主防災組織の関係者などが受講しました。

講座では、自主防災組織の役割や一関市の災害特性などを学ぶほか、防災指導を行うための教育技法、DIG（災害図上訓練）による実践的な訓練を行いました。また、火災、地震、水害、救急に対する基本的な対応について、講義と実技を通じて理解を深めました。





受講者は、地域の防災リーダーとして必要な知識と技術の習得に熱心に取り組みました。講座修了後は、それぞれの地域や職場において防災指導や自主防災組織の活動支援に取り組み、地域防災力の向上に貢献することが期待されます。なお、本講座の修了者は一関市防災指導員（AID）の受講資格を有することになります。

令和８年度岩手県幼少年女性防火委員会会長表彰

令和8年 10 月 14 日(火曜日)に一関南消防署にて「令和8年度岩手県幼少年女性防火委員会会長表彰伝達式」が行われました。

火災予防意識の高揚及び啓発に多大に貢献し、他の女性消防協力隊の模範となる団体として、花泉町女性消防協力隊が、岩手県幼少年女性防火委員会会長から表彰されました。

花泉町女性消防協力隊
▼左側 熊谷 千恵 氏【副隊長】　▼右側 阿部 恵美子 氏【隊長】



花泉町女性消防協力隊の活動について

住宅用火災警報器の設置促進や火災予防運動、はなほこども園と連携した防災教室の実施など、多岐にわたる予防啓発活動を展開され、防火･防災意識の向上に大きく貢献いただいております。

発行日 令和8年 11 月6日
編　集 一関市消防本部 〒021-0053
岩手県一関市山目字中野 140-3

広報 119